

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	5	ささえあい・雄武		整理番号	80
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	評 価 責 任 者	財務企画課長 佐々木幸博	
単位施策	1	計画行政の推進		税財管理課長 山崎 佳之	

1 施策の概要

基本方針	総合計画や各種分野別計画に基づく政策・施策・事業は、総合計画策定審議会をはじめ、まちづくり町民委員会（仮称）などによる町民関与を高めるとともに、庁内組織の横断的な連携や総合調整を行います。行政評価は、総合計画実施計画・財政計画、予算編成と連動させ、施策・事務事業の改善・見直しを都度行うとともに、内部評価と合わせて町民等による外部評価の実施をめざしていきます。	
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）
	各種計画の策定については、パブリックコメントや一般公募委員制度の導入により住民関与を高めている。また、事務事業評価の実施によりPDCAサイクルを確立するとともに、総合計画実施計画のローリングにより次年度予算の財源対策も含めた検証を行い、計画的な行政運営を行っている。	各種計画の策定については、パブリックコメントや一般公募委員制度の導入により住民関与を高めている。また、事務事業評価の実施によりPDCAサイクルを確立するとともに、総合計画実施計画のローリングにより次年度予算の財源対策も含めた検証を行い、計画的な行政運営を行っている。
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）
	行政評価の評価水準を高める努力を継続する必要があるほか、外部評価の導入に向けては実効性のあるよう、住民関与の仕組みについて幅広く検討していく必要がある。	行政評価の評価水準を高める努力を継続する必要があるほか、外部評価の導入に向けては実効性のあるよう、住民関与の仕組みについて幅広く検討していく必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	外部評価委員会の設置						
	定義等	事務事業・施策・政策評価のための、住民等による外部評価委員会の設置						
	年 度	計画策定時（H19）	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値							設置
実績値	未設置	未設置	未設置	未設置	未設置	未設置		
指標2	指標名	行政改革の進捗率						
	定義等	行政改革大綱推進実施計画における進捗状況						
	年 度	計画策定時（H19）	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値							90%
実績値	87%（H18）	—						
指標3	指標名							
	定義等							
	年 度	計画策定時（H19）	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値							
実績値								
指標4	指標名							
	定義等							
	年 度	計画策定時（H19）	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値							
実績値								
指標5	指標名							
	定義等							
	年 度	計画策定時（H19）	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値							
実績値								
指標6	指標名							
	定義等							
	年 度	計画策定時（H19）	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値							
実績値								
指標7	指標名							
	定義等							
	年 度	計画策定時（H19）	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値							
実績値								

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	雄武町基本調査実施事業	情報統計係	1,823	A	継続/現状維持	A
②	公共施設等総合管理計画策定事業	財政係	0			
③	固定資産台帳経年変化補正更新委託事業	課税係	1,296	A	継続/現状維持	A
④	役場庁舎維持管理事業（ガラス清掃・床ワックス掛け）	管財係	497	A	継続/現状維持	A
⑤	役場庁舎備品更新事業	管財係	2,150	A	継続/現状維持	A
⑥	街路灯LED化整備事業	管財係	17,172	A	継続/現状維持	A
⑦	防犯灯LED化整備事業	住民活動係	5,843	A	継続/現状維持	A
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	計画行政の推進については、行政評価から予算編成までの一連の作業が重要であり、現状では機能していると判断する。総合計画の策定にあたっては実態を正確に把握する必要があり、それに伴う客観的データや住民ニーズの把握は必要と考える。
② 有効性	A	行政評価から予算編成までの一連の作業が重要であり、機能していることから有効であると判断する。基本調査では、国勢調査と同様の手法により実施したことで数値の対比等も可能となり、有効なデータの把握が可能となった。
③ 効率性	A	行政評価から始まる一連の作業は機能しており、効率的に計画行政が推進されている。基本調査においても統計調査員の協力により経費の抑制に努めたほか、効率的な調査により重要な基礎データの把握が可能となった。
④ 公平性	A	計画行政の推進は町の健全な財政運営上欠くことのできないものであり、公平性に疑問はない。適切な行政施策を講じるためには、現状把握と将来予測が不可欠であり、そのためにも人口等の基礎データの把握は重要である。
⑤ 町民意見の反映	A	各種計画の策定にあたっては、公募委員制度やパブリックコメントなど、広く住民関与を高める仕組みは出来ている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
事務事業評価の実施、総合計画実施計画のローリング等により計画的に行政運営を行っている。	同 左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
計画的な行政運営はできているが、今後は外部評価や住民関与の仕組みについて、幅広く検討していく必要がある。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止